

## 令和２年度図書館事業評価結果について

河内長野市立図書館（図書館）では、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」（平成２４年１２月１９日文科科学省告示）に基づき、図書館サービスその他図書館運営の維持・向上を図るため平成２６年度から図書館事業評価を行っています。令和２年度の図書館事業評価結果について、取りまとめましたので公表します。

図書館は、平成３１年２月２３日付け河内長野市図書館協議会（図書館協議会）の答申を受け「第２期河内長野市立図書館の事業の実施等に関する基本的な運営の方針」（基本的運営方針）を平成３１年３月３１日付けで決めました。基本的運営方針に基づき策定した事業計画及び指標の達成状況を分析し、今後の課題・取組等について図書館により自己点検・評価を実施します。また、この自己点検・評価を踏まえ図書館協議会委員から外部評価を得ます。その結果を「河内長野市立図書館事業評価」として公表します。

### １．点検及び評価の目的

- ・ 基本的運営方針に基づいた運営がなされていることを確保し、事業水準の維持・向上を図ります。

### ２．評価の方法等

基本的運営方針に基づき策定した事業計画及び指標の達成状況を分析し、指標に係る数値目標により３段階の評価基準で評価を実施します。また、図書館協議会委員から外部評価を得ます。

実績は１２月末現在の数値に３月末までの推計を含めて算出します。

- ・ 評価基準（端数切捨て）  
A…達成した（９０％以上） B…ほぼ達成した（８９％～６１％）  
C…達成できなかった（６０％以下）

令和2年度河内長野市立図書館事業計画 主な取組実績及び自己点検

	事業計画	取組目標	主な取組実績	自己点検（今後の課題・取組等）
基本的運営方針 1	読書活動を推進し、市民の読書習慣の定着化を促進します。			
	<p>(1) 市民の資料要求に応え、さらにその要求を広め高めて行くため、良質な資料を収集・提供します。</p>	<p>①図書館の蔵書の充実 ②図書館利用の促進 ③魅力のある資料の収集</p>	<p>「河内長野市立図書館収集方針」（令和2年9月1日改定）及び「河内長野市立図書館蔵書整備計画」（平成28年4月1日策定）に基づき、蔵書整備計画予算配分表を毎年度作成し、計画的な資料の収集を行っています。</p> <p>①1年間の受入冊数（図書館） 12月末実績 9,402冊 3月末実績（推計）10,700冊</p> <p>②図書館利用者数 12月末実績 270,163人 3月末実績（推計）367,477人</p> <p>③市民1人当たりの貸出冊数 12月末実績 4.6冊 3月末実績（推計）6.4冊</p>	<p>①1年間の受入冊数は、昨年度並みの冊数を維持し、蔵書の充実に努めました。今度とも魅力ある良質な資料構成を目指して、ネーミングライツによる歳入を活用し資料の更新と充実を進めていきます。 （ネーミングライツ（命名権料）の内訳） 令和2年1月1日～6年12月31日 初年度 50万円＋物品393,340円 次年度以降 年額70万円</p> <p>また、英語多読資料の整備を引き続き進め、より一層の利用促進を図ります。</p> <p>英語多読コーナー蔵書冊数 12月末実績 1,466冊 英語多読コーナー貸出冊数 12月末実績 5,429冊</p> <p>②非来館型サービス、高齢者や障がい者サービスの充実に向け、令和2年9月に電子書籍を導入しました。今後も充実に努めます。 電子書籍蔵書冊数 12月末実績 7,935冊 電子書籍ログイン利用者数 12月末実績 4,424人</p> <p>③4月1日から5月18日までの臨時休館もあり、貸出冊数は例年より減少していますが、今後も市民の読書要求に応えられるよう、蔵書の充実に努めていきます。</p>
	<p>(2) 市内全域への図書館サービス提供のため、図書館、公民館や自動車文庫等の全体の蔵書構成を考えた資料収集を行います。</p>	<p>①市内全域への図書館サービス ②公民館図書室の蔵書の充実 ③自動車文庫の蔵書の充実</p>	<p>公民館図書室8ヶ所、自動車文庫ステーション23ヶ所のサービスポイントを活用し、利用者の利便性の向上と資料提供に努めました。</p> <p>①図書館と公民館との相互貸借冊数 12月末実績 34,005冊 3月末実績（推計）45,340冊</p> <p>②公民館図書室の蔵書整備冊数 12月末実績 1,181冊 3月末実績（推計）1,450冊</p> <p>③自動車文庫の蔵書整備冊数 12月末実績 319冊 3月末実績（推計）360冊</p>	<p>①コロナ禍においても、予約資料を最寄りの公民館図書室や自動車文庫サービスポイントを利用して受け取るなど、図書館ネットワークが有効に活用されており、例年と変わらない相互貸借冊数となっています。</p> <p>②③今後とも市内全域にサービスできるよう継続した資料整備を行っていきます。</p>
<p>(3) 市民の身近な施設としてのサービス機能の充実を図るため、自動貸出機を活用するなど利便性の向上に努めます。</p>	<p>①自動貸出機の利用促進</p>	<p>①自動貸出機による貸出冊数割合 12月末実績 21.2% 3月末実績（推計）21.5%</p>	<p>自動貸出機の利用状況は、12月末現在、利用人数22,078人、貸出冊数102,803冊でした。臨時休館の影響で例年より利用者数が減っています。平成29年6月の導入以来一定の割合で利用されています。利用に不慣れな利用者もいることから、今後も、より利用しやすいようサポートしていきます。</p>	

	事業計画	取組目標	主な取組実績	自己点検（今後の課題・取組等）
基本的 運営方針 2	市民との協働を推進するとともに、交流人口の拡大や地域の活性化に寄与します。			
	（４）ボランティア活動の充実を支援し協働を推進するため、読み聞かせボランティア講座やスキルアップ講座を実施します。	①ボランティアとの協働を推進	①開催講座数、ボランティア活動のべ参加人数 開催講座数 12月末実績 1講座 5回 3月末実績（推計）3講座 9回 ボランティア活動のべ参加人数 12月末実績 256人 3月末実績（推計）314人	①すぐに役立つ読み聞かせボランティア講座参加者のうち、図書館で活動するボランティアに新たに加入予定3名（おはなしパレット1名、子どもと本の連絡会2名）、子どもと本をつなぐ活動に関する講座については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催延期となりました。図書館で活動いただいているボランティアについては、児童サービスではおはなし会で一部活動できましたが、えほんのひろば、ようこそえほんといっしょ（乳幼児健診での読み聞かせ）などは新型コロナウイルス感染拡大防止のために活動を中止しました。障がい者サービスでは、さわる絵本・布の絵本の制作はしましたが、対面朗読、福祉施設の訪問などは中止となりました。ヤングサービスでは高校生ボランティア（本の配架や修理等）などが活動できました。新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じながら、様々な図書館事業にボランティアとして参画いただいています。
	（５）生涯学習機会の拡大のため、他の公立図書館等との連携を一層図り、広域相互利用を実施して交流人口の拡大を進めます。	①広域相互利用の推進	①14市町村広域登録者数 12月末実績 7,871人 3月末実績（推計）7,963人	①市民の生涯学習機会を拡大するため今後とも広域相互利用を実施します。（14自治体：大阪市、東大阪市、八尾市、松原市、柏原市、羽曳野市、藤井寺市、富田林市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村、橋本市、五條市）  また、例年、富田林市、大阪狭山市の市立図書館とともに「三市図書館連携講座」を開催して来ましたが、蔵書点検前の相互利用案内も含めて今年度はコロナ禍の影響で中止しています。
（６）地域課題の解決に向けて、様々な分野で活動しているボランティア団体のチラシを配架することで情報発信を支援し、またボランティア活動への参加を促進して、地域活性化を図ります。	①ボランティア団体の情報発信を支援	①るーぷらご登録団体や社会福祉協議会主催事業等のチラシ配布数 12月末実績 746枚 3月末実績（推計）900枚	①チラシを配架すると、早い時期になくなっていくものも多数あり、市民の地域活動等への関心の高さが表れています。今後も、図書館資料の展示を行うなど、積極的な情報発信や情報提供を行っていきます。 なお、チラシは地域活動の意義をより一層強く発信するために、SDGs持続可能な17の開発目標に区分して配架しています。	
基本的 運営方針 3	子どもたちに多様で豊かな読書環境や学習機会を提供するため、学校、地域、家庭との連携を図ります。			
	（７）「河内長野市第3次子ども読書活動推進計画」（平成28年度～平成32年度）に基づき、関係機関との連携を図りながら子どもの読書活動を推進します。	①子どもたちの図書館利用の推進 ②図書館と学校との連携 ③学校等での本に親しむ機会の提供	①0～18歳の図書館登録者率 12月末実績 47.6% 3月末実績（推計）48.0%  ②図書館から小中学校への団体貸出冊数 12月末実績 2,658冊 3月末実績（推計）3,544冊  ③えほんのひろば参加者数、うち異年齢交流参加者数 12月末実績 11人、4人 3月末実績（推計）100人、90人	①利用者登録は、校長会、教頭会にもお願いして学校を通じて中学一年生に登録の機会を設け図書館利用のPRに努めました。  ②学校専用の資料である「学校支援用図書」の整備等、継続した資料整備に努め、言語力向上司書とも連携しながら子どもの読書環境の整備を進めます。令和元年度から、学校支援用図書の予約を30冊から100冊に拡大しています。  ③「えほんのひろば」については、コロナ禍により臨時休業後の授業時間を優先するため、学校での開催案内を中止し、三日市幼稚園での開催のみ行いました。それ以外も大阪府立花の文化園、夏休み子ども教室、河内長野市立子ども子育て総合センターでの開催は見合わせました。3月21日に子ども英語村での開催が予定されています。

	事業計画	取組目標	主な取組実績	自己点検（今後の課題・取組等）
基本的運営方針 4	図書館機能の充実を目的に、児童サービスやレファレンスサービスほか各種サービスの向上を図ります。			
	(8) 子どもたちの読書活動の推進を図るため、ボランティア等と連携し、おはなし会などを実施します。	①定期的なおはなし会等の子ども向け行事の実施	①おはなし会等開催回数、おはなし会等参加者数 12月末実績 41回、230人 3月末実績（推計） 55回、300人	①英語のおはなし会（5月31日15時～＜中止＞、7月12日15時～、9月6日15時～、11月8日いずれも日曜日 計46人参加） 新型コロナウイルス感染拡大防止および大雨警報のため、年間89回開催予定のところ、12月末現在で41回の開催となりました。水曜日のおはなし会について、子ども連れの保護者の来館が見込めない状況が続いているので、今後の開催について検討中です。
	(9) 地域文庫、幼稚園・保育所及び放課後児童会等への団体貸出の利用を促進するため、資料集配送を継続実施します。	①団体貸出の利用促進	①資料配送件数、資料配送冊数 12月末実績 178件 7,468冊 3月末実績（推計） 235件 9,955冊	①4月1日～5月18日の図書館の臨時休館、そして市内小中学校園の臨時休業により資料配送の利用は減少しました。しかし、通常の配送とは別に、臨時休館中の4月に放課後児童会に対して、図書館司書の選書による「緊急貸出パック」の配送を行い、子ども達の読書環境の整備に努めました。 4月15日～5月1日 放課後児童会28ヶ所 計2,350冊配送
(10) インターネット端末席の設置や、メールマガジンの発信、レファレンスデータベースの公開などITを活用した図書館サービス機能の充実を進めます。	①インターネット・オンラインデータベースの利用促進 ②レファレンスデータベースの充実 ③インターネット環境の充実 ④国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの利用環境の整備	①インターネット・オンラインデータベース端末席利用者数 12月末実績 281件 3月末実績（推計） 422件 ②レファレンスデータベースの公開件数 12月末実績 9件 3月末実績（推計） 12件 ③Wi-Fi利用登録者数 12月末実績 1,292人 3月末実績（推計） 1,376人 ④国立国会図書館が提供する歴史的音源や電子書籍の年間利用回数 12月末実績 4回 3月末実績（推計） 7回	①インターネット利用が12月末実績で276件と例年の15%程度、滞在時間や利用の制限もあり、オンラインデータベースの利用は限られている状況です。近隣他市へのPRも行い、利用の一層の促進を図ります。 ②レファレンスデータベースの事例公開は今年度12件を予定しており、年度末には累計106件となる見込みです。新たな資料も増えていることから過去の公開事例の見直しも進め、利用者の課題解決の支援に努めます。 ③Wi-Fiの利用者数は順調に増加しており、今後も安定して提供できるように機器の更新の検討を進めます。 ④国立国会図書館が提供する歴史的音源の利用は多くありませんが、電子書籍については、以前にレファレンスで国立国会図書館から郵送複写で論文を取り寄せていた件数に近く、利用者の利便性の向上につながっています。今後も、メールマガジンや図書館だより等を通じてPRに努めます。	

	事業計画	取組目標	主な取組実績	自己点検（今後の課題・取組等）
	<p>(11) 図書館の利用に困難がある市民に対して、その理由や程度に応じた資料を量的拡充・質を向上させるとともに、誰もが利用しやすい環境づくりを進めます。</p>	<p>①録音図書等の整備 ②サピエの活用 ③読書媒体や端末機器の情報入手に関する支援 ④郵送貸出サービスの実施 ⑤福祉施設へのサービスの実施 ⑥認知症にやさしい図書館の推進</p>	<p>①録音図書の新規受入数 12月末実績 31タイトル 88点 3月末実績（推計） 36タイトル 93点</p> <p>②録音図書の他館借受・ダウンロード数 12月末実績 1032タイトル 1432点 3月末実績（推計） 1400タイトル 1800点</p> <p>③マルチメディアデイジー上映会等回数 12月末実績 2回 3月末実績（推計） 2回</p> <p>④郵送貸出件数 12月末実績 199件 801点 3月末実績（推計） 270件 1,040点</p> <p>⑤福祉施設への団体貸出利用数 12月末実績 1,660冊 3月末実績（推計） 2,213冊</p> <p>⑥まちかどカフェ（認知症カフェ）参加者数 12月末実績 44人 3月末実績（推計） 51人</p>	<p>①活字による読書が困難な方に、録音図書を提供しています。</p> <p>②サピエを活用し、全国の点字図書館等が所蔵する録音図書を借受またはダウンロードすることにより、自館が所蔵していない録音図書を提供しています。</p> <p>③マルチメディアデイジーの普及を目指し、また図書館で貸出しできることをPRするため、上映や体験会を行っています。</p> <p>④活字による読書が困難で、かつ来館するのが困難な利用者に対して、録音図書の郵送貸出サービスを行っています。 また、今年度はコロナ対応として、図書館の臨時休館中に予約取り置き資料の郵送貸出を行いました。 5月12日～22日実施 レターパックでの郵送 344人620冊 ゆうパックでの着払い 13人76冊 なお、着払いによる郵送貸出は、規則改正を行い制度化し、サービスを継続しています。</p> <p>⑤市内の福祉施設にアンケートを実施し、希望のジャンルなどを聞き取り、それを元に図書館職員が貸出パックを作成して施設まで配送するサービスを行っています（令和2年度は8施設が利用）。</p> <p>⑥まちかどカフェは、高齢福祉課と共催で行っている「認知症について相談できる場」です。今年度は、キックス1階集会室を使用して月1回開催しており、当事者やその家族、ボランティアなどが気軽に集える場となっています。図書館職員も参加し、資料の提供や情報交換などを行っています。</p>

	事業計画	取組目標	主な取組実績	自己点検（今後の課題・取組等）
	郷土歴史資料や行政資料の収集保存を進め、その普及啓発や活用を図ります。			
基本的運営方針 5	(12) 郷土歴史資料の普及啓発や活用を図るため、関連講座及び資料の展示を行うとともに保存修復を行います。	①郷土歴史資料の保存修復 ②郷土歴史資料の活用	①郷土歴史資料数、保存修復点数 12月末実績 230群約6万点 保存修復数 0点 3月末実績（推計） 230群約6万点 保存修復数 31点 ②開催講座数 12月末実績 1講座（2コマ） 3月末実績（推計）1講座（2コマ）	①日本遺産「中世に出逢えるまち～千年にわたり護られてきた中世文化遺産の宝庫」を構成する文化財である金剛寺・観心寺などに伝来の古文書の図書館内での公開を実施。また、河内長野市を舞台とした映画「鬼ガール！」ゆかりの資料を市HPで紹介し、館内展示（「紙本著色河州錦部郡鬼住村絵図」複製）を実施。その他、寄託資料として「寺元地区地籍図」が新たに収集されました。令和2年度に江戸期の当市域に関する重要資料である野村家文書の修復等をすすめ、郷土歴史資料の普及啓発や活用を図ります。  ②講座は、古文書講座（初歩の初歩3コマ・入門編3コマ）各1講座、歴史講座2講座を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため入門編2コマのみの実施となりました。今後も継続して郷土歴史資料を活用した講座を行っていきます。 金剛寺・観心寺などに伝来の古文書資料を大学の協力のもとデジタル化して図書館内で公開し、市内の民話や広報かわちながのなどの郷土行政資料を電子図書館で閲覧できるようにしています。
	図書館を利用することで市民自らの課題が解決できるよう、図書館資料の活用を促進します。			
基本的運営方針 6	(13) 図書館資料の利用を促進するため、生活に役立つ図書館講座や児童を対象とした利用者教育講座（資料の探し方等）を開催します。また、利用者の知的好奇心を刺激するような、多様なテーマに沿った展示を行い図書館資料の活用につなげます。	①課題解決に役立つ講座の開催 ②図書館資料を活用した展示	①開催講座数、参加者数 12月末実績 3回（25人） 3月末実績（推計）5回（57人） ②テーマ別展示数 12月末実績 45回 3月末実績（推計）59回	①小学生に図書館での資料の探し方を教える「図書館マスター」2講座（小学3～6年生対象）、生活に役立つ図書館講座1講座（英語多読）を開催しました。生活に役立つ図書館講座はあと2講座（創業計画3/7、英語多読3/14）実施予定。  小学生対象の利用者教育講座のほか、今年度は教職員の初任者（小・中学校2年次）研修において、図書館職員が講師となり、図書館の学校支援事業の紹介や図書館の機能を学校教育に活用するための研修を行いました。  ②展示については、今年度くろまる塾による講座がなく、関連する行政展示もなくなったこと、また他の展示も5月18日まで休館が続いたことが影響し、減少しました。しかし、5月19日以降毎月または随時、一般向け、児童向け、ヤング向けの各テーマ展示や、他課の講座・イベント等と連携した展示など、様々な切り口で積極的に行っています。 今後も図書館資料の利用促進のため、講座や展示を継続して行っています。 電子図書館においても、「電子図書館だより」（月刊）の作成や、様々な特集を組んで電子書籍の効果的な紹介を行い、利用促進を図ります。
	図書館司書及びその他の職員の資質・能力の向上を図るため、継続的・計画的な研修を実施します。			
基本的運営方針 7	(14) 図書館司書及びその他の職員の資質・能力の向上を図るため、継続的・計画的な研修を実施します。	①研修への参加 ②職員の接遇能力の向上	①研修（館外）数、研修参加者数 12月末実績 15講座 73人 3月末実績（推計）20講座 92人 ②利用者の職員対応満足度（5段階評価） 12月末実績 4.4 3月末実績（推計）4.4	①文部科学省や大阪公共図書館協会等が主催する図書館員向け研修に、職員を参加させています。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ほとんどが動画視聴やオンライン開催など非接触に配慮した方式となりました。集合研修は参加した中では3講座程度でした。動画視聴の場合は、移動時間が必要なく、館内整理日等を利用して多人数で受講できるなど、メリットもありました。  ②利用者の職員対応満足度は、図書館アンケートにより5段階評価で平均4.4であり、今後も職員の接遇の向上に努めます。

	事業計画	取組目標	主な取組実績	自己点検（今後の課題・取組等）
基本的 運営 方針 8	コンプライアンスを推進し、安全で安心な図書館の読書環境を維持します。			
	(15) 市民の理解と協力を得て図書館の良好な読書環境の維持、利用マナーの向上を図ります。	①良好な読書環境の維持	①マナー向上キャンペーン実施回数 12月末実績 1回 (6/17～7/18) 3月末実績 (推計) 2回 (3月実施予定)	①資料の水濡れ防止キャンペーン（貸出時に声掛けやチラシ配付）を実施しました。今後も図書館資料を守り、利用者マナーの向上を図るための啓発活動を行っていきます。  利用者の安全で安心な読書環境を維持するため、図書消毒機（2台）を導入し利用者に供するほか、職員による返却資料の表紙の消毒を継続して行っています。  利用者の利便性の維持と経費削減の両方の観点から、利用実態に合わせた開館時間の見直しを行いました。 開館時間（令和3年1月～） 火～金曜日 午前10時～午後7時 土・日曜日 午前10時～午後5時
	(16) 危機管理マニュアルの整備、職員に対して防火訓練をはじめAED講習や防犯講習等を実施します。	①職員の危機管理能力の向上	①防火訓練等実施回数 12月末実績 3回 3月末実績 (推計) 5回 実施内容 (実施日) ・大阪880万人訓練 予行演習 8/3 ・自衛消防訓練 8/10 11/23 ・救命救急講習 12/7・・・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ・情報セキュリティ研修動画視聴 2/1 ・消防訓練動画視聴 3/1	①自衛消防訓練等を施設の関係者と合同で行いました。複合施設にあることを踏まえ、関係機関との連携を図り利用者の安全安心に努めます。また、令和2年度予算で防犯カメラを増設します。  12月7日に実施予定だった救命講習については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

## 第2期事業評価 数値目標

方針の番号	指標		29年度 (参考)	30年度 (参考)	元年度 (参考)	令和2年度実績及び自己評価 ※年度実績は、12月末現在の数値に3月末までの推計を含めて算出 A(90%以上) B(89~61%) C(60%以下)		
						目標値	実績値	自己評価
1 ・ 5 ・ 6	1年間の受入れ冊数	購入冊数+寄贈冊数(冊)	14,055	14,261	13,845	14,000	12,510	自己評価・・・B (目標に対し、89%達成)
	図書館利用者数	(人)	629,506	584,998	563,008	520,000	367,477	自己評価・・・B (目標に対し、71%達成)
	市民一人当たりの貸出冊数	貸出冊数÷人口(冊)	9.8	9.8	9.2	9	6.4	自己評価・・・B (目標に対し、71%達成)
	登録者率	登録者数÷人口(%)	39.6	42.9	45.8	40	39.1	自己評価・・・A (目標に対し、98%達成)
2	広域登録者の占める割合	広域登録者÷登録者(%)	15	15.6	16.0	16	16.2	自己評価・・・A (目標に対し、101%達成)
						目標値	実績値	
3 ・ 4	0~18歳の図書館登録者率	0~18歳登録者÷0~18歳人口(%)	43.4	47.1	49.1	40	48	自己評価・・・A (目標に対し、120%達成)
	学校との連携	図書館から小中学校への団体貸出冊数(冊)	7,737	6,883	6,344	6,000	3,544	
7 ・ 8	利用者の職員満足度	5段階評価	4.5	4.4	4.5	4以上	4.4	自己評価・・・A (目標に対し、110%達成)
						目標値	実績値	

## 図書館関係統計 (参考)

		28年度 (参考)	29年度 (参考)	30年度 (参考)	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
図書館、自動車文庫、公民館の蔵書冊数	3月31日現在(冊)	487,475	493,467	502,137	505,277				
登録者数	3月31日現在(人)	39,165	42,299	45,227	47,608				
貸出冊数	年度実績(冊)	1,078,752	1,041,706	1,028,992	961,936				
登録者1人当たりの貸出冊数	貸出冊数÷登録者(冊)	28	24.6	22.8	20.2				
人口	3月31日現在(人)	107,963	106,713	105,377	104,031				
職員数(うち司書)	3月31日現在(人)	28 (21)	27 (21)	27 (21)	26 (21)				
資料費	当該年度決算見込(円)	26,413,891	26,356,725	26,080,913	27,055,769				
開館日数	3月31日現在(日)	332	330	296	277				

## 令和2年度河内長野市立図書館事業計画に対する図書館協議会委員による外部評価

### ○基本的運営方針1 事業計画(1)について

・ネーミングライツは初年度50万円プラス物品とありますが、実際に50万円というのは図書館全体の中に入ってしまうんですね。来年からは70万円になるんですね。

・図書費や消耗品、雑誌スポンサーとして複数の雑誌も入れていただいているとのことですが、雑誌は続くことで意味があったりするので、雑誌スポンサーが来年度も続くよう、ぜひ努力してください。

### ○基本的運営方針6 事業計画(13)について

・小学校の先生に対して図書館職員が講師になって研修をされたというのがあります。これは大変重要なことだと思います。すぐにはなかなかできるとは思いますが、何かあれば図書館に頼んだらいいよと先生が思っていたような機会として、ぜひ今後もやっていただきたいと思います。

・学校の先生とうまく連携が取れて、事前に図書館職員に言っていただけるとかしていただけるとありがたいのですが。

・教員の社会体験研修は毎年色々な施設に分けて行かせていただいていたのですが、例年以上に図書館に協力いただいて、このような形の初任者研修にさせていただき、図書館の利用について広めるという意味では良かったのではないかと思います。

### ○数値目標について

・指標「学校との連携 図書館から小中学校への団体貸出冊数」について、学校側からの働きかけならばそれはそれで仕方がないことで、評価をCにしなくてもいいのではと思いました。

・コロナの影響があるから仕方がなかったといえばそうなのですが、数字だけを見ればCになり、今年はやむを得ないですね。他の貸出をみてもAになるはずなのがBとなっていたり、今年はやむを得ない数字だと思います。数字で活動がわかるようにしろと言われるのですが、質や事情が出てこない。仕方がないですね。

・コロナということでかなり直接的に数字に表れていますが、反面コロナの時期だからこそ何か掘り下げて取り組めたとか伸ばせた、深められた事業があれば教えてください。⇒電子書籍や本の消毒機を導入することができました。

・着払いによる郵送貸出も今まではなかったサービスで、これまでは来てくださいだったのが、今は図書館に来なくても頼めば送ってくれる。コロナならですね。